

単元名 おおきく なった

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 身近なことを表す語句の量を増やし、語を文章の中で使うことができる。
 (2) 観察したことなどから書くことを見付けるとともに、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。
 (3) 植物を観察しながら、書くために必要な事柄を集め、友達と交流しようとする。

標準的な展開例

01010113_001

【教材名】おおきく なった (上 P.66～P.67)

【準備等】観察記録用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 観察する観点を知る。</p> <p>★よく見て、くわしく書こう。</p> <p>○学習の見通しをもつ。</p> <p>○どんな観点で観察したいかを出し合う。</p> <p>○観察記録の書き方を知る。</p> <p>3～4 観察記録を書く。</p> <p>○観察記録を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かず ・かたち ・いろ <p>○書いたものを友達と交流する。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに生活科で使用した観察記録を用意して、確認させてもよい。 ・生活科で育てている植物の様子を想起し「よくみて くわしくかく」という学習課題を確認する。 ・出し合ったものを、教科書 (P.66) の観点でまとめたり、教科書に出ていないものをクラス全体で共有したりする。 ・教科書 (P.66～67) の二つの作例を読み、書かれている観点と書き方の共通点・相違点を見付けさせる。 ・どんなことが書かれていると「詳しい」のか発表させる。 ・生活科で育てている植物を観察し、観点を想起して気付いたことをメモしたり絵に描いたりさせる。 ・メモを見て、二つの作例の書き方から選んで観察記録を書くようにさせる。 ・教科書 (P.124) を参考にして、横書きのカードの書き方を知らせ、生活科の学習にも生かすようにさせる。 <p>【評】観察記録を書く活動を通して、身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使う「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】観察記録を書く活動を通して、観察したことから書くことを見付けて、必要な事柄を集めたり確かめたりする「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流しながら、友達の観点や書き方について共通点・相違点に気付かせたい。 <p>【評】友達と交流する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな観点から観察することで、様子を詳しく記録できることに気付かせたい。

【 備 考 】